

基礎の設計・3D配筋 (部分係数法・H29道示対応) Ver.2

Advanced ¥530,000
Standard ¥421,000
Lite ¥284,000

計算・CAD統合

3D配筋対応

Windows 7/8/10対応

H29道路橋示方書に準拠した
基礎の設計計算、図面プログラム

電子納品 SXF3.1
IFC 3D PDF
有償セミナー

本製品は、公益社団法人 日本道路協会より平成29年11月に発行された道路橋示方書・同解説を参考に、基礎の設計に対応したものです。

【道示改定の大幅な計算関連の主な変更点】

- 杭の水平変位が杭径の1%を超え、かつ15mmを超える場合には、水平方向地盤反力係数は変位に応じた補正を行う
- 杭の軸方向ばね定数Kv算出(支持杭と摩擦杭毎に式が異なる)
- 杭頭条件が剛結のみとなった
- 杭体の部材照査に対して耐荷性能と耐久性能が必要

Ver.2 改訂内容

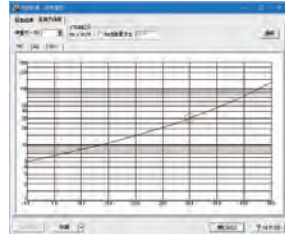
2018年1月31日リリース

1. 平成29年11月 道路橋示方書・同解説対応
2. 杭基礎: 杭頭結合部、負の周面摩擦力、斜杭に対応
3. 直接基礎: 結果確認・計算書改善、支持力係数N_γの取扱変更、計算書一覧対応
4. 鋼管矢板基礎、ケーソン基礎: 部材照査に対応
5. 地中連続壁基礎: 安定照査及び部材照査に対応

▼永続変動作用時の安定計算結果



▼支持力係数(直接基礎)



3次元鋼管矢板基礎の設計計算 (連結鋼管矢板対応) Ver.4

プログラム価格
¥760,000
カスタマイズ版
¥760,000

鋼管矢板井筒基礎の設計を
支援するプログラム

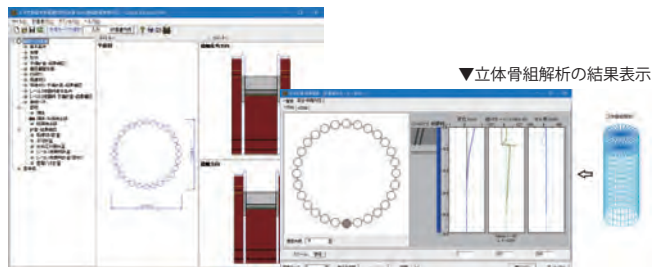
Windows 7/8/10対応

電子納品

鋼管矢板井筒基礎の設計を支援するプログラムで、材料非線形性を考慮した立体骨組解析を行います。レベル1地震動、レベル2地震動の基礎の安定計算から、部材計算、施工時の検討まで、詳細設計レベルの検討を行うことが可能です。

- 構造形式: 井筒型鋼管矢板基礎
- 施工方法: 仮締切り兼用方式(連結鋼管矢板工法をサポート)
- 平面形状: 円形、小判形、矩形(隔壁、中打ち単独杭を考慮可能)
- 鋼管矢板の施工方式: 打込み工法、中掘り工法(最終打撃方式、セメントミルク噴出攪拌方式、コンクリート打設方式、プレローリング方式)
- 頂板と鋼管矢板との結合: プレートブラケット方式、差し筋方式、鉄筋スタッド方式、頭部埋込み(隔壁、中打ち単独杭)
- 継手形式: P-P継手、H-H継手
- 材料非線形性を考慮した立体骨組解析による鋼管矢板基礎の解析
- 「基礎の設計計算」と同等の簡易な入力で、立体骨組解析が可能
- レベル1地震時の安定計算で、地盤の非線形性を考慮した3次元解析に対応

▼メイン画面



▼立体骨組解析の結果表示

プラント基礎の設計 ・3D配筋 Ver.2

プログラム価格
¥500,000

Windows 7/8/10対応

計算・CAD統合

3D配筋対応

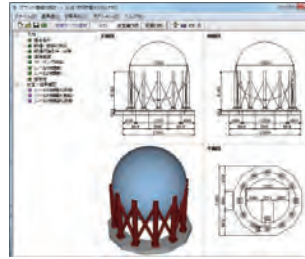
電子納品 SXF3.1
IFC 3D PDF

プラント基礎の耐震設計・
図面作成プログラム

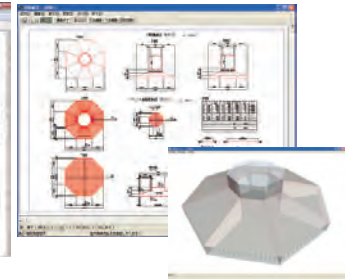
高圧ガス設備等耐震設計指針を参考とした耐震設計構造物のレベル1地震動、レベル2地震動(設備)の耐震照査を行うプログラムです。

- 高圧ガス設備等耐震設計指針を参考に、塔類(スカート支持)、塔類(レグ支持)、球形貯槽、横置円筒形貯槽、平底円筒形貯槽耐震設計設備をサポート
- 地震動: 供用期間中に発生する確率の高い地震動(レベル1地震動)と発生する確率の低い直下型、海溝型の巨大地震(レベル2地震動)
- 重要度や構造物高さ(または貯蔵能力)に応じて、静的震度法や修正震度法を内部的に自動で切り替えて計算
- 設備のレベル2地震動耐震評価: 1次振動モードが卓越する耐震設計構造物とみなし、損傷モード毎にエネルギー一定即を適用、塑性評価法により評価
- 杭基礎(PHC杭、鋼管杭)、直接基礎のレベル1地震動に対応
- CADデータ交換標準SXF Ver3.1形式の(レベル2)出力対応
- 3D配筋シミュレーション機能、IFC、Allplan形式のファイル出力対応

▼メイン画面



▼図面確認画面



3次元鋼管矢板基礎の設計計算 (部分係数法・H29道示対応) NEW

プログラム価格
¥760,000
カスタマイズ版
¥760,000

H29道路橋示方書に準拠

Windows 7/8/10対応

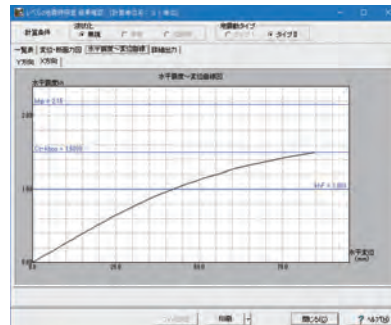
電子納品

平成29年道路橋示方書に準拠し、部分係数法の設計に対応した製品となります。

【H29道路橋示方書の対応】

- 永続作用/変動作用による作用ケースの入力に対応。
- 安定の照査で、変位の制限の照査及び限界状態における照査に対応。また、杭工法における極限支持力度の特性値や最大周面摩擦力度の特性値の変更により押し込み力の制限値、引抜き力の制限値が変更。
- 水平変位の制限値の算出に対応。
- 頂板の照査で、部分係数法による照査に対応。部材の照査は、限界状態1, 限界状態3における照査を行う。
- 鋼管矢板基礎の設計計算のモデルが、平成24年道路橋示方書から大きく変更。

▼レベル2地震時結果確認



▼立体骨組解析モデル

